

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 2 月 6 日 (2020.2.6)

【公開番号】特開 2019-88663 (P2019-88663A)
 【公開日】令和 1 年 6 月 13 日 (2019.6.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-022
 【出願番号】特願 2017-221070 (P2017-221070)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 C

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 5/04 5 1 2 C

【手続補正書】
 【提出日】令和 1 年 12 月 23 日 (2019.12.23)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

特定の遊技が可能な遊技領域を備えた遊技機であって、
発光可能な発光体と、
遊技者が前記発光体に接触できないように設けられた保護手段と、を備え、
前記発光体は、所定位置に配置された第 1 発光体を含み、
前記保護手段には、前記第 1 発光体の発光面に対向する第 1 視認部と前記発光面に対向
しない第 2 視認部が形成され、
前記第 1 視認部は、前記第 1 発光体の光を遊技者が視認可能とされ、
非点灯状態の前記第 1 発光体に対する視認性が前記第 1 視認部と前記第 2 視認部とで異
なる
 遊技機。

【請求項 2】

非点灯状態の前記第 1 発光体は、前記第 2 視認部から視認可能とされると共に前記第 1
視認部から視認不能とされた
 請求項 1 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

本発明に係る遊技機は、特定の遊技が可能な遊技領域を備えた遊技機であって、発光可
能な発光体と、遊技者が前記発光体に接触できないように設けられた保護手段と、を備え
、前記発光体は、所定位置に配置された第 1 発光体を含み、前記保護手段には、前記第 1
発光体の発光面に対向する第 1 視認部と前記発光面に対向しない第 2 視認部が形成され、
前記第 1 視認部は、前記第 1 発光体の光を遊技者が視認可能とされ、非点灯状態の前記第

1 発光体に対する視認性が前記第 1 視認部と前記第 2 視認部とで異なるものである。

これにより、発光体の不具合を発見しやすくメンテナンス性のよい遊技機を提供することができる。